



## ガリガリ君 E-mail 通信

令和7年2月(第196号)

下水道既設管路耐震技術協会

今月号では、最近実施した展示会や説明会の紹介、来年度に向けての協会活動のお知らせを中心にお伝えします。

### ○ 埼玉県八潮市で大規模な陥没事故が発生

1月28日午前、埼玉県八潮市で下水道管の損傷が原因と思われる道路陥没により、通行中のトラックが転落する事故が発生しました。転落したトラック運転手の救出や被害の拡大防止対策等の作業が進められ、事故の詳細な内容は判っていませんが、29日には国土交通省より、日量30万トン以上の処理能力を持つ処理場に接続する直径2メートル以上の管きよを対象に、緊急点検を実施するよう指示が出されています。

地中で工事する以上耐震工事も陥没事故とは無縁ではありませんので、会員の皆様には、引き続き管口の処理を十二分に留意し施工してください。

### ○ 地震情報

能登半島地震から1年が経過しましたが、今年に入ってから2県で震度5弱の比較的大きな地震が発生しています。両地震とも下水道施設への大きな被害は無かったようです。

①日 時：1月13日

震源地：宮崎県日向灘

地震の規模：マグニチュード6.9

最大震度：震度5弱 宮崎市、高鍋町、新富町

その他：この地震で津波注意報が発令されました

②日 時：1月23日

震源地：福島県会津

地震の規模：マグニチュード5.0

最大震度：震度5弱 桧枝岐村

### ○ 下水道展 '25 大阪へ出展します

今年下水道展は下記により開催されます(写真-1)。

名称：下水道展 '25 大阪

会期：2025年7月29日(火)～8月1日(金)

会場：インテックス大阪

応募小間数：1,100小間(前回東京開催時 1,100小間)

併催企画：  
・札幌開催時から始まった「下水道技術情報研修会(ブースツアー)」やテクニカルツアーの実施が予定されています。



写真-1 下水道展開催案内

・また期間中、例年通り「第62回下水道研究発表会」が開催されます。

本協会も昨年同様2小間での出展としますが、今回は大阪万国博覧会開催期間中の交通混雑を避けるため、3小間以下のブースについてはブースの仕様が定められた「パッケージブース」での出展に限定されています。出展の詳細については、今後予定されている出展者説明会で明らかになりますが、ブースデザインや会場内の様子が例年とはかなり異なることが予想されます。

## ○ 第29回「震災対策技術展」へ出展します

2月6日～7日の2日間、「パシフィコ横浜」Dホールで第29回「震災対策技術展」が開催され、本協会も昨年度に引き続き出展します。

出展内容は、3工法等のパネルと模型の展示、簡易液状化実験、パンフレット配布等のほか、下水道展でも好評だった能登半島地震での被災状況写真の展示を予定しています。

また会場では、『令和6年能登半島地震(M7.6)・豪雨による複合災害における報告会』が開催される他、6会場で50を超えるセミナー・シンポジウムが予定されており、全て「無料」で聴講できます。

## ○ 千葉市でフロートレスの工法説明を行いました

令和7年1月22日(水)、フロートレス工法の説明会を装い新たにした千葉市庁舎内で実施しました(写真-2)。

千葉市では、これまでも本協会の既設人孔耐震化工法(ガリガリ君)や耐震一発くんを用いた地震対策事業が鋭意進められており、ガリガリ君(185基)、耐震一発くん(510管口)の施工実績があります。市では今後のマンホールの浮上対策の実施にあたり、様々な浮上抑制工法について検討される中、今回は本協会がフロートレス工法の説明を行ったものです。

千葉市からは鈴木下水道整備課長以下10名の職員が参加され、約1時間30分に亘り、パーポイントによる説明と質疑応答が行われました。質疑応答では、消散弁の金額、工法のメリット、デメリット、点検内容、等数多くの質問が出されました。

これを契機にフロートレス工法が採用されることを期待して説明会を終了しました。



写真-2 千葉市フロートレス工法説明会

## ○ 東京都市町村下水道情報交換会で工法説明を行いました

令和7年1月29日(水)、東京都下水道局流域下水道本部が主催する多摩・島嶼31市町村の下水道関連部署との情報交換会が、来庁者3名、ウエーブ参加者54名、合わせて57名(他に流域下水道本部より7名)を対象に、同本部で開催されました。

前半は、災害発生時の支援ルール、復旧事業、調査について、流域下水道本部の担当者からの説明があり、後半に本協会から「非開削地震対策工法」をテーマに、東京都で用いられている管路の耐震3工法のしくみや施工法等を、模型とパワーポイント資料で1時間に亘り紹介(写真-3)したほか、能登半島地震への支援内容や職員の派遣内容についての報告がされました。



写真-3 災害対策講習会

## ○ 東京都下水道局との意見交換会が行われました

1月29日(水)、令和6、7年度の耐震化工事実施に関する東京都下水道局との意見交換会が開催されました。

局からは5名、協会からは富田運営委員長以下3名の委員と事務局から2名が出席し、協会より事前に提出していた要望書に基づき、最近の耐震工事の進捗や実施状況、耐震工事を実施する上での課題やそれに伴う局への要望など17項目について、45分間に亘って充実した意見交換が行われました(写真-4、5)。



写真-4 意見交換会の様子



写真-5 要望書の手交

**\*\*\* 協会からのお知らせ \*\*\*\***

## ○ 第24回定時総会の開催

第24回定時総会を下記により開催いたします。

- ・日 時：令和7年4月25日(金)
- ・会 場：銀座東武ホテル
- ・総 会：16:00~17:15      ・意見交換会：17:30~19:30

会員の皆様には追って案内状をお送りいたしますので、日程の確保をお願いします。

## ○ 令和7年度施工管理者講習会・施工技術者研修会の受講者募集

令和7年度の施工管理者講習会及び施工技術者研修会の受講希望者を募集いたします。

申込資料は、令和6年度の会員名簿の連絡担当者宛に、2月3日(月)にメールにて送信いたしますので、本年度の受講申し込みを希望する会員は手続きをお願いします。

講習会、研修会の具体的な日程については未定ですが、会場については例年通り下記の会場を予定しています。

- ① 既設人孔耐震化工法・フロートレス工法
  - 1) 施工管理者講習会      実施時期：5月  
会 場：・東京    ・名古屋    ・福岡    ・金沢
  - 2) 施工技術者研修      実施時期：6月  
会 場：日本ヒューム 熊谷工場
- ② 耐震一発くん
  - 1) 施工管理者講習会      実施時期：6~7月  
会 場：草加新里文化センター
  - 2) 施工技術者研修会      実施時期：6~7月(施工管理者講習会との同時開催)  
会 場：(株)メーシック 谷塚事業所

通知が届かない会員や不明の点がありましたら、協会事務局（担当：荻原・オギワラ）までお問合せ下さい。 TEL03-3437-6454

## ○ 優秀技能者賞を受賞されました

今年度の「魅力ある建設事業推進協議会」(CCI東京)による技能者の顕彰で、加茂建設(株)(東京)の鎌田茂さんが優秀技能者賞を受賞されました。おめでとうございます(写真-6)。

担当工事：東京都下水道局

荒川区東尾久六丁目、南千住二丁目付近管路耐震化工事



写真-6 お喜びの鎌田さん

CCI東京は建設事業をより魅力あるものにするために、建設現場のイメージアップのほか、建設事業の市民への魅力づくりを目指して、見学会や優秀技術者の表彰などの活動を行っており、学識経験者、国・公団、社団法人、東京都等で構成されています。

## ○ 会員名簿記載事項調査を行います

令和7年度会員名簿の作成にあたり、記載事項の変更の有無を調査いたします。変更のある場合は、お送りする調査票の記載事項を修正のうえ、FAXまたはメールにて期日までに事務局に返信ください。

## ○ 今月の予定

- 6・7日 震災対策技術展
- 14日 運営委員会、品質確保委員会
- ～28日 クロスチェックパトロール

◆◆◆ 下記会員が退会されましたのでお知らせします ◆◆◆◆◆◆◆◆  
会員名：(株)佐々木組(東京都大田区)  
代表者：代表取締役 小林 光一 氏

### 編集後記

・能登半島地震発生から1年が経過しました。この間本来業務に加え、被災情報の収集、現地調査の実施の他、最近では耐震計画の見直しや策定に伴う設計事務所からの見積依頼への対応等に追われ、あっという間の1年でした。今回の地震で下水道施設に大きな被害を受けられた珠洲市では、既設人孔耐震化工法による耐震化事業が、令和3年度から継続的に実施されてきましたが、下水道計画そのものが大きく見直されることが予想され、耐震事業を含め同市における下水道施設の復旧がどのような形で進められるのか、心配されるようです。

・表紙の写真は、NHKニュースで伝えられた八潮市の陥没事故の上空からの映像です。陥没事故は下水道事業者にとっての永遠の課題ですが、地下鉄工事による福岡やリニア新幹線工事による陥没事故もあったように、地下空間を利用する事業者にとっての共通の課題でもあります。

・能登半島地震では水道送水管の損傷により広範囲に長期間の断水を引き起こし、住民の生活や都市活動に大きな影響が出ました。1年経過した今度は、下水道管で同じような損傷事故が起こり、大きな影響が既に出ています。国の上下水道行政が一元化されたタイミングで、ネットワーク構造の持つ脆弱性が水道と下水道で同時に露わになったことに、何か因縁めいたものを感じます。まずは一刻も早い被害の復旧を祈るばかりです。